

<開催のご案内>

「ソニー子ども科学教育プログラム」科学が好きな子どもを育てる教育実践
全国 220 の小・中学校より選ばれた「最優秀校」

研究成果を発表する「子ども科学教育研究全国大会」開催
9月22日(金) 諏訪市立中洲小学校(長野県)
— 研究発表、公開授業、記念講演他 —

後援： 文部科学省、長野県教育委員会、長野県小・中学校長会 他

公益財団法人 ソニー教育財団(会長 盛田昌夫)は、2016 年度「ソニー子ども科学教育プログラム」の教育助成論文で「最優秀校」に選ばれた長野県諏訪市立中洲小学校(校長:白鳥 保美)にて、優れた教育実践を公開・発信する「子ども科学教育研究全国大会」を開催します。

「ソニー子ども科学教育プログラム」の論文募集は、1959年にソニー創業者の井深大が始めた教育助成活動です。昨年度、全国からご応募いただいた220校の頂点、「最優秀校」に選ばれた中洲小学校では、「いのちの教育」を研究の柱とし、子どもたちの「科学する心」を豊かに育む教育活動に取り組んでこられました。同プログラムにおいては2013年度にも「最優秀校」を受賞されており、2回目の全国大会開催となります。

郷土の伝統文化に関連する題材を取り上げることで、科学と自分との関わりを子どもたちに実感させる教材や、「予想し検証を重ねながら“自然事象”に迫る」単元展開の工夫など、元文部科学事務次官 御手洗 康氏を含む審査委員より高く評価された実践の様子を、公開授業などを通じて全国の教育関係者のみなさまに広くご紹介します。

当日は、早稲田大学教育・総合科学学術院教授 露木 和男 氏による記念講演を予定しています。また、同プログラムに入選した他県の理科教員によるポスターセッション、テーマごとに小グループに分かれた教員および参加者によるディスカッション、児童による黄金太鼓の演奏なども予定しています。

昨年10月に福島県で開催した全国大会には、全国の教育関係者、学生、地域や学校関係者など300名以上が訪れました。素晴らしい取り組みと、次世代を担う子どもたちの学びの姿をぜひご覧ください。

※中洲小学校の最優秀論文全文(PDF)はこちらでお読みいただけます
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2016_sci_nakasu.pdf

※中洲小学校からのご案内(PDF)はこちらのページからご覧ください
http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/taikai/pdf/2017/2017_nakasu_2nd.pdf



子ども科学教育研究全国大会(研究発表) 開催概要

諏訪市立中洲小学校 (長野県諏訪市立中洲 2371-1 番地)

開催日時: 平成 29 年 9 月 22 日(金) 8:45~16:30

研究主題: いのちの教育 「科学する心」を豊かに育む 自分づくり・ふるさとづくり

内 容: 研究発表、各学年での授業公開、授業者と語る会、授業案や教材に関するポスターセッションなど

記念講演: 「子どものいのち輝く地域の自然学習」 露木 和男 氏 (早稲田大学教育・総合科学学術院教授)

主 催: 中洲小学校、公益財団法人 ソニー教育財団、ソニー科学教育研究会

後 援: 文部科学省、長野県教育委員会、諏訪市教育委員会、長野県小中学校校長会 他

「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文「最優秀校」

諏訪市立中洲小学校（長野県）

テーマ：「科学する心」を豊かに育む

自分づくり・ふるさとづくり～予想し検証を重ねながら対象”自然事象”に迫る子ども～

論文全文（http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/result/pdf/2016_sci_nakasu.pdf）

【審査講評】

「科学が好きな子ども像」を明確にしたうえで「いのちの教育」を研究の主題として、「自分づくり・ふるさとづくり」を通して科学と自分・郷土との関わりを子どもたちに実感させ、理解させる実践が行われています。また、科学の基本である「予想し検証を重ねながら“自然事象”に迫る」ための単元展開を工夫するとともに、「対象との出会い・働きかけ・対話」、「予想と検証」、「対話や振り返り」、「子どもの変容」を「学びの道筋」として基本に据えて、子どもたちの学びの姿を丁寧に見とる実践が行われています。

具体的な実践においては、「御柱祭」という郷土の伝統文化に関連する題材を取り上げるなど、「ふるさと中洲を科学する」教材や環境を積極的に取り入れて子どもたちの興味・関心を喚起し、理科の有用感を持たせるようにしています。

■「ソニー子ども科学教育プログラム」教育助成論文とは

「科学が好きな子どもを育てる」を主題に、理科や生活科を中心とした教育の「実践」と「計画」を募集しています。毎年、約200の全国の小学校・中学校から、学校での取り組みを論文にまとめてご応募いただきます。

元文部科学事務次官の御手洗 康 氏を審査委員長に、各界の専門家が実践、考察・評価、次年度計画について審査します。予備審査・中間審査を経て、「最優秀校」など上位の入選候補校に関しては現地調査も行います。「最優秀校」は翌年、計画の実践とともに、全国の教育現場でその成果を共有できるよう、「子ども科学教育研究全国大会」を開催。主題に迫る取り組みの積極的な発信にご協力いただきます。

詳しくは、ホームページをご覧ください：<http://www.sony-ef.or.jp/sef/program/index.html>

■ソニー教育財団について

ソニーの創業者である井深 大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育助成活動の始まりです。

この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深 大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。50年以上もの間、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深 大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、幼児期から中学生までの「科学する心」を育むこと、「科学が好きな子ども」を育てることを柱にした教育助成を行っています。

教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む『科学する心』を見つけようフォトコンテストなど、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。



ソニー創業者 井深大

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1

TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 山下)

公式ホームページ：<http://www.sony-ef.or.jp/>

公式フェイスブック：<https://www.facebook.com/SonyEducationFoundation>